

◎北上夜曲碑

悠久と流れる北上川を背にたたずむ歌碑(展勝地リストハウス脇)。作詞・作曲者自筆の詞・楽譜が刻まれています。ボタンを押すとメロディーが流れれる仕掛けも。昭和49年北上市、北上観光協会建立



甘く切ない青春の歌、「北上夜曲」

軍歌行進曲全盛の中で、2人の青年が作った叙情的作品は

国民的愛唱歌と言われるほど大流行しました

心の琴線に触れる歌詞とメロディーは、今もなお、人々の心をつかんで離しません

多くのファンに支えられてきた北上夜曲歌唱コンクール全国大会と

人々の思いを取材しました

北上夜曲全国大会の軌跡	
第1回	昭和62年10月10日(予選)北上ワシン トンホテル・(決勝)北上市民会館
第2回	昭和63年10月9日(予選)北上ワシン トンホテル・10月10日(決勝)北上市 民会館
第3回	※ソロ、コーラスに加え、デュエット部門を新設(第9回まで) 平成元年10月9日(予選)北上ワシン トンホテル・10月10日(決勝)北上市 民会館
第4回	平成2年10月6日(予選)北上ワシン トンホテル・10月7日(決勝)北上市 民会館
第5回	平成3年10月5日(予選) 【ゲスト】ダーク・ダックス 10月6日(決勝)
第6回	平成4年10月3日(予選) 【ゲスト】和田弘とマヒナスターズ 10月4日(決勝)
第7回	平成5年10月2日(予選) 【ゲスト】平尾昌晃 10月3日(決勝)
第8回	平成6年10月1日(予選) 【ゲスト】ジヤックキー吉川&ニユー・ ブルーハーモン 10月2日(決勝)
第9回	平成7年10月7日(予選) 【ゲスト】チエリッシュ 10月8日(決勝)
第10回	平成8年10月5日(予選) 【ゲスト】デューケエイセス 10月6日(決勝)
第11回	平成9年10月4日(予選) 【ゲスト】サーカス 10月5日(決勝)
／北上市民会館	／北上市民会館
／北上市民会館	／北上市民会館
／北上市民会館	／北上市民会館



作曲者 安藤睦夫

農業の傍ら音楽に親しむ。50代で作曲家生活へ。平成19年1月逝去。旧種市町生まれ



作詞者 菊地規

教師となり北上夜曲を教え子たちに広めた。平成元年1月逝去。旧江刺市生まれ

## 作者不明で流行した謎の名曲

昭和30年代の歌声喫茶ブームと共に大ヒットし、いくつものレコードや映画が作られた「北上夜曲」。北上川河畔の淡い初恋を歌つたこの曲は昭和16年に作られ、36年に脚光を浴びるまで、詠み人知らずのまま歌われ広まっていました。作詞者は菊地規さん(当時18歳)、作曲者は安藤睦夫さん(当時17歳)。菊地さんは水

沢農学校、安藤さんは旧制八戸中学校の生徒。菊地さんの通う水沢農学校で、安藤さんの叔父が配属将校だったことから2人は偶然知り合い、意気投合。

北上夜曲が誕生しました。その後、2人は音楽とは異なる道へ進みました。作品は一人歩きし、人から人へと歌い伝えられました。そして20年後、全国に広がることもに2人も注目を浴びることになります。

## 北上夜曲と北上市

北上市は、残念ながら歌の発祥地ではありません。けれども、私たち市民にとつて身近な曲となっています。曲に歌われた風景が展勝地の北上川河畔を連想させることから、安藤さんと菊地さんの自筆歌碑が建てられました。このような碑は全国でも珍しいといわれています。この歌碑がきっかけで、北上夜曲の全国大会が企画されました。市ではそのころ、企業誘致が進む北上の観光PRをと、北上川を中心に観光の目玉を模索していました。そこで歌碑に着目。歌唱大会を開くことにしたのです。

昭和62年10月10日、当時の市民会館

を決勝大会の会場に、いよいよ第1回

北上夜曲歌唱コンクール全国大会は開催されました。北上夜曲だけを延々と歌う歌唱大会。それでも東京、神奈川などからも参加者があり、61人3団体が歌声を競いました。それぞれの個性にあふれた歌は、同じ作品でもまつた異なる歌に聞こえ、観客も聞き入ったといいます。

第10回(平成8年)では、ソロへのエントリーが107人、17・18回でもソロだけで100人近くの参加があり、大会は市のメインイベントへと成長。「北上夜曲」が代表作のマヒナスターZなど多彩なゲストを毎回招き、大いに盛り上がりました。

## 全国大会に幕

大会の開催には、北上夜曲を後世にも歌い継いでいこうという思いが込められています。この歌碑がきっかけで、北上夜曲の全国大会が企画されました。市ではそのころ、企業誘致が進む北上の観光PRをと、北上川を中心に観光の目玉を模索していました。そこで歌碑に着目。歌唱大会を開くことにしたのです。この大会も、今年23回目を数えて最終回。歌い継ぐという目的は、コンクールによって一定の成果を挙げ、一度幕を下ろします。

第12回	平成10年10月3日(予選)	【ゲスト】ペギー葉山
第13回	平成11年10月2日(予選)	【ゲスト】ビリー・バンバン /北上市民会館
第14回	平成12年9月30日(予選)	【ゲスト】河島英五 /北上市民会館
第15回	平成13年10月6日(予選)	【ゲスト】麻倉未稀 /北上市民会館
第16回	平成14年10月5日(予選)	10月7日(決勝) 【ゲスト】米良美 /北上市民会館
第17回	平成15年12月13日(予選)	【ゲスト】中島啓江 /北上市民会館
第18回	平成16年9月26日(予選・決勝)	【ゲスト】マヒナスターZ & 多摩幸子 /さくらホール
第19回	平成17年10月2日(予選・決勝)	【ゲスト】庄野真代 /さくらホール
第20回	平成18年9月30日(予選・決勝)	【ゲスト】三原綱木 /さくらホール
第21回	平成19年9月29日(予選・決勝)	【ゲスト】きたがわてつ・清心 /さくらホール - 安藤睦夫先生・菊地規先生を偲ぶ -
第22回	平成21年10月3日(予選・決勝)	【ゲスト】マヒナスターZ & 多摩幸子 /さくらホール 【ゲスト】歌声・新宿ともしび 【ゲスト】声喫茶「ともしび新宿店」 ※東京予選会を開催(7月5日・歌

ンクールへの思  
伺いしました

# 北上夜曲はハートで歌う

まもなく76歳を迎えますが、当時のことは鮮明に覚えていきます。優勝するとは全く思つてもいませんでした。申し込

みも友人がしたのです。「こんな大会があるようだから出てみたら」って。それで気軽に参加したのですが、さすが

に全国大会とだけあって緊張しましたね。安藤先生を存じ上げずにいましたが、曲は若いときから好きでした。自己流でソフトに歌つたのが評価されたのかもしません。

全国大会が終わりを迎へ、北上の観光を支えてきた大きなイベントの一つがなくなります。北上のまちおこしと、今後も北上夜曲を歌い継いでいくためには、若い世代でも親しめる新しい楽しみ方を考えていく必要がありそうです。『北上夜曲』が北上市民の思い出の歌となるためにも。(終)

北上夜曲は、人から人へと広がったため、正しくメロディーが伝わらなかつたんですね。安藤先生は、正調を大切にしていました。審査では、基本に忠実に、と厳しくチェックされていましたね。安藤先生の奥さまが、この大会を通じて家族や知人が集まつた、と感謝していたことも印象に残

# 楽しく歌つていただきたい

ています。

大会の開催は、昔を掘り起  
こすいい機会になつてきまし  
た。今回は1961年作の映  
画「北上夜曲」をご鑑賞いただ  
きます。さくらホールはステ  
ージから観客がよく見え、残  
響音も少なく実力がよく分か  
ります。皆さん緊張するでし  
ょうが、楽しんでください。



## 全国大会実行委員会委員長 赤坂忠美さん

第14回(平成12年)から実行委員として大会に携わり、16回(14年)から実行委員長

優勝は  
一番幸せな思い出

歌唱大会を企画した、当時の商

夜曲との出会いは、京都の大学に通う二十歳の時。初めて耳にしたとき、なんてすてきな曲だと感じました。念願のコンクールに参加して思つたことは、改めて全国の多くの人がから愛されている曲なのだとということ。人の心の奥深くにあるロマンチックな部分が揺り動かされるからだと思

思います。私にとつても特別な  
思いがある曲です。

コンクールがなくなつても  
歌はみんなの心の中で愛され  
歌い継がれるでしよう。何か  
別の形で続けていつてほしい  
です。大震災からの復興の中  
で大変なことと思いますが、  
北上川と共に一緒に元気にな  
りましょう！

歌唱大会を企画した、当時の商業観光課係長・高橋斎氏（現北上観光協会事務局長）は、「北上川と展勝地公園を会場に歌つたらさぞかし気持ちいいだろう」と思いついたそうです。さくらまつりで遊覧船を走らせ、こいのぼりを泳がせ、まつりと歌唱大会を同時開催する。さらに、予選会は全国でプロツクごとに開催し、各プロツクの優勝者が北上での決勝大会で競う、という考えもありました。23回も大会が続いたことに、高

橋氏は「」まで続いたのも夜曲の根強い人気によるもの。歌の魅力だろう」と話します。同時に今 の世代に合う形に変えて引き継いでいくつほいと願っています「匂いやさしい 白百合の…」。「北上」というまちの、市の花は「しらゆり」。この共通点も、北上市でのコンクール開催を成功させた要因なのかもしれません。

全国大会が終わりを迎える北上  
の観光を支えてきた大きなイベント  
の一つがなくなります。北上の  
まちおこしと、今後も北上夜曲を  
歌い継いでいくためには、若い世  
代でも親しめる新しい楽しみ方を  
考えていく必要がありそうです。  
「北上夜曲」が北上市民の思い出の  
歌となるためにも。  
(終)

# 私たちと一緒に歌いませんか



コーラスの部に出場  
最後に皆で一緒に歌おう会(代表 高松幸子)  
メンバーはコーラスが大好きな地元の皆さん。総勢50人で出場

さくらホールができた年のイベントに、合唱団として出演したことがきっかけで、コンクールにも参加。以後、さまざまなメンバーで合唱団を結成し、参加し続けてきました。このままコーラスを続けたいと、『「さくら」の女声合

ソロの部の伴奏を毎年引き受けたジャズバンド「高橋喜一郎とタックズフオーノ」北上ジャズオールスターの皆さん。出場者によつて違うキーでテンポを弾きこなし、淡淡と伴奏に徹してきました。「まだまだやりたかった」との声が寄せられました。

## 出場者の思いを尊重し演奏



## 第23回 北上夜曲歌唱コンクール 全国大会(ファイナル)

それぞれの思いが込められた北上夜曲をご鑑賞ください。61年作の映画「北上夜曲」の上映会も行います。  
問い合わせ 商業観光課内線3354

離れていた人も、練習するうちに当時を思い出し、懐かしい気持ちになっているようですね。本番に向け、楽しく笑いながら練習しています。最後のコンクールですので、思いつきり、感謝を込めて歌わせていただきます。

北上夜曲の思い出、コいなど、皆さんからお



第1回ソロの部最優秀  
稻本吉則さん(青森県八戸市)

第1回(昭和62年)優勝当時51歳。大会をきっかけに、安藤氏との親交を深める

優勝してからは安藤先生の元へ20数年通い、指導を受けました。現在は地元の高齢大学で講師を務め、授業で毎年必ず北上夜曲を歌っています。この曲は、ハートで歌わないと涙が出るような曲になりませんね。皆さんにずっと歌い続けてほしいです。

10月1日(土)  
さくらホール・中ホール

予選会 午前10時~  
決勝大会 午後2時30分~

入場料	予選会	無料
	決勝大会	前売り1,000円 当 日1,500円 小中学生 無料

